

投資の基礎講座 「日銀の利下げ」

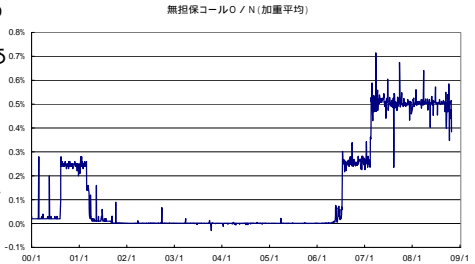
CFP®認定者
日本FP協会群馬支部副支部長 大谷 明

日本銀行は10月31日の金融政策決定会合で「無担保コールレート(オーバーナイト物)の誘導目標を0.2%引き下げ、0.3%前後で推移するよう促す(公表後直ちに実施)」としました。

日本銀行の金融政策手段としては、公定歩合操作、預金準備率操作、公開市場操作の3つがありますが、現在行われている方法は、公開市場操作のみです。公開市場操作を通じて、銀行間取引市場の無担保コール(オーバーナイト物)の金利水準を誘導目標近辺にすることで、金融政策を行っています。

2007年2月21日に誘導目標を0.25%から0.5%に引き上げ後1年7ヶ月ぶりの変更で、引き下げは2001年2月以来7年7ヶ月ぶりのことです。世界的な景気減速で各国中央銀行が相次いで利下げを行っていますが、日銀も協調利下げを行ったこととなります。

日銀は誘導目標を達成するために各銀行が日銀に預けている当座預金の残高を調整するオペレーション(各行が日銀に差入れている担保を裏付けとして資金供給を行うことなど)を行います。資金供給を行って、日銀当座預金の残高が増えれば各行は、資金決済の不足をコール市場から調達する必要性が低下してコールの金利が低下することとなります。



先週の金融市場データ

週間高低表(終値ベース)	週初	高値	安値	週末終値
日経平均株価	7,162.90円	9,029.76円	7,162.90円	8,576.98円
TOPIX	746.46	899.37	746.46	867.12
ニューヨークダウ平均	8,175.77ドル	9,325.01ドル	8,175.77ドル	9,325.01ドル
NASDAQ	1,505.90	1,720.95	1,505.90	1,720.95
10年国債利回り	1.470%	1.540%	1.470%	1.480%
5年国債利回り	0.985%	1.030%	0.860%	0.860%
無担保コールO/N	0.512%	0.515%	0.384%	0.384%
米国FFレート	1.0000%	1.0000%	0.1250%	0.1250%
米国10年国債利回り	3.69%	3.96%	3.69%	3.96%
ドイツ10年国債利回り	3.76%	3.91%	3.74%	3.91%
ドル/円相場	92.95円	98.74円	92.95円	97.00円
ユーロ/円相場	115.65円	130.45円	115.65円	123.21円
1ユーロ=ドル	1.2441ドル	1.3211ドル	1.2441ドル	1.2702ドル
豪ドル/円相場	58.50円	67.06円	56.61円	65.65円
NY原油先物(WTI)	63.22ドル	67.81ドル	62.73ドル	67.81ドル
NY金先物	742.90ドル	754.00ドル	718.20ドル	718.20ドル

スーパー定期(ニュー定期)金利表

平成20年11月4日現在

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年
群馬銀行	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%
東和銀行	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%
高崎信用金庫	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%
郵便局	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%

第16回FPフォーラム

11月15日(土)に日本FP協会群馬支部は、金融庁、前橋市、前橋市教育委員会などの協賛を得て、前橋市中心街にある前橋プラザ元気21で「第16回FPフォーラム」を開催します。

高齢社会を生き抜くために「健康で楽しく生きるために～医療・福祉・介護の現場から～」と「今から考えるそれぞれの60代」をメインセミナーとしたほか、一般生活に密着したミニセミナー「クイズで学ぶ暮らしに役立つマメ知識」、小学生を主な対象とする「お小遣いゲーム(親子で学ぶ お小遣いから始める金銭教育)」など盛りだくさんの内容となっています。

日時 平成20年11月15日(土) 10:30～16:10

会場 前橋プラザ元気21(前橋市本町2丁目12-1)

10時30分～12時00分「健康で楽しく生きるために～医療・福祉・介護の現場から～」

14時00分～15時30分「今から考えるそれぞれの60代」

ミニセミナー 11:00～16:10 各30分 全5回 他

今週の株式相場見通し

先週の株式相場は、急激な円高を受け大幅安となり、日経平均株価は一時7000円を割りこみましたが、値頃感からの買いから9000円台を回復、しかし、利下げ幅が予想を下回ったことなどから急落して引けました。

今週の株式相場は、協調利下げや世界的な金融安定化策が矢継ぎ早に打たれ、米欧金融システムへの過度な懸念は和らいだもの、景気悪化の足取りが急速であることから、値動きの荒い不安定な相場展開が続くことが予想されます。

業績予想を引き下げる企業が相次いでおり、積極的に買いあがる状況にはなく上値の重い展開となりそうです。一方で日経平均が26年ぶりの安値をつけたことで底値圏との見方を強めた個人投資家の買いが入ってきたことで下値不安は若干薄れた感があります。

日経平均株価は8000～9200円程度の推移となりそうです。

今週の債券・為替相場見通し

先週の債券相場は、株価の下落や日銀の利下げ期待感から中短期債を中心に買われ、5年国債利回りは0.860%となりましたが、リスク回避の傾向が強くなり長期金利の低下は限定的でした。

今週の債券相場は、先週中短期金利の低下に長期金利が追いついていけなかったことから、やや低下傾向になることが予想されます。円高修正が一般し再び円高傾向になっていることも債券相場を下支えする要因になりそうです。

10年国債利回りで1.38～1.48%程度での推移となりそうです。先週の為替相場は、海外通貨が対円で急落、1ユーロ=113円台、1ドル=90円台まで円が買われました。その後急速に値を戻しましたが、週末はやや円高で取引を終えました。

今週の為替相場は、引き続き値動きの荒い展開が予想されます。米大統領選が終わり新政権の経済対策への期待と財政赤字拡大の懸念という綱引きもあり、不安定な値動きが続きそうです。

1ドル=96～100円程度の推移となりそうです。

